



9/10 4年 保健授業

今日は、4生が保健学習の一環として、「いのちの大切さ」について学びました。今回は、外部講師として上尾中央病院から助産師の方をお招きし、これまで多くの出産に携わってこられた経験をもとに、お話をいただきました。

中学年になると、毎日の生活が当たり前になり、「生きていること」や「命が誕生すること」について、あらためて考える機会は少なくなります。また、メディアやゲームなどの影響から、時として自分や友達を傷つけることを軽く考えてしまうこともあります。

今回の学習では、助産師として多くの命の誕生に立ち会ってきたからこそ伝えられるお話や、心に残るエピソード、そして一人の母親としての思いなどを聞き、子供たちは「命」について真剣に考えることができました。

子供たちからは、「もっと聞きたい」という思いが伝わるほど、たくさんの質問が出されました。最後の感想発表では、各クラスの代表児童が、今回の学習を通して考えたことや感じたことを発表しました。

